

B I

201



201
59

59

K110.1
201
1

小學初教

稻垣千穎校閱
塚原苔園編

一

稻垣千穎校閱
塚原苔園編

卷一

小學初教

版權免許

博文堂藏版



小學初教緒言

一此此書は小學生徒の朝夕服膺す盡き
要項を日用行事の上小就きて最感覺
し易く最會得し易く務めて文詞を平
易し其の順序抑揚を明ふして簡短
小説示せしものなり
一此の書を五卷小別ち第一章孝悌小始
りて第十章衛生小終り生徒の級に應
じて其の難易を斟酌區別せり

一此の書は初等小學の讀書に供し第一
 年第五級生より第三年第一級生に授
 けて之を熟讀せしめんことを欲し
 一書中間「可いへり」と記せし條ハ余が編
 輯條目此趣旨をして確實ならしめん
 が爲し聖哲の格言訓語を近易小引証
 せしものなり

明治十七年三月

編者識

小學初教卷之一

目次

- 孝悌
- 忠節
- 事師
- 友誼
- 禮儀

言行

立志

學業

勉強

衛生

目次終

小學初教卷之一

東京

稻垣千穎校閱
塚原苔園編

第一章 孝悌

○我を生み我をりだてゝ
ものは父母なり

○親子より。〜たりきものはな〜

○父母の恩はもつともたも〜

○父母の恩をば。あするべからず

○父母には。孝をつくすべ〜

○よく父母につかふるを。孝といふ

○父母めさば。すみやかにゆくべ〜

○父母の命には。ろむくべからず

○父母の命せしことは。すみやかに。行ふべし

○我と父母を。同ぐくする者は。兄弟姉妹なり

○兄弟姉妹の親みは。父母につぐ

第二章 忠節

○我が父母。兄弟姉妹と。我とを。をさむる者は。君なり

- 君の恩は至つてたか
- 君の恩をば忘る可らず
- 君には忠を盡すべし
- 能く君に事うまつるを忠といふ
- 君に事うまつるは猶父

母につこふるがごとし

第三章 事師

- 我ををしふる者は教師なり
- 教師の恩は至つてふ

○教師の恩をば忘るべからず

○教師の教をばよく守るべし

○教師の教を忘る可らず

○教師の命には従ふべし

○教師の命に背くことな

かれ

○教師の恩は父母にひと

し

○教師には父母とたな

く事ふべし

第四章 友誼

- 人はわの友だちあり
- 友達には睦くまづはるべし
- 友達と交るときは信を盡すべし

- 友達は兄弟ふつぎて親むべし
- 人には長者幼者の別あり
- 年多きものを長者といふ

○年少きものを幼者と云ふ

○長者は幼者を愛すべし

○幼者は長者を敬ふべし

第五章 禮儀

○人はをさなまきときより

行儀をならふべし

○行儀ふりれの作法あり

○起ちおふるまひい志と

やかにすべし

○顔いろは和にすべし

○ことばは。丁寧にするべし。
○人は。片ときも。行儀をみ
だすべからず

第六章 言行

○人には。信實をかたるべ
し

○いつはりを。言ふべから
ず

○行ふことばは。正直にするべ
し

○よこしまの事を。すべから
ず

○信を言ふものは善き人なり

○詐を言ふ者は悪き人なり

○正直にするを善きことなむとす

○邪にするを悪き行とす

第七章 立志

○心のむくところを志といふ

○人にはたのしく志あり

○志は萬事の本なり。といへり

○萬事の本は學業をつとむるにあり

○志たつものは學業かならずなる

○志立たざる者は學業成らず

○志を立つるには心を一筋にすべし

第八章 學業

○人各まなぶべき業あり

○書物を讀むは。身ををさ
むるためなり

○手習をするは。字をかく
ためなり

○算術を習ふは。物をか
ふるためなり

○作文は。文をかき習ふ爲
なり

○學校は。人を教ふる所な
り

○學校には。教師あり

○教師は。學業をさづくる

人なり

○ 學校には業を授くるト
かんあり

○ 授業の時間に。わくるべ
からず

○ 教を受くるときは能く

心を用ゐるべし

○ 日々教を受けしことは。
忘るべからず

第九章 勉強

○ 人の第一ふすべきは勉
強なり

○人の最いまゝむづきは
怠なり

○人勉強するときは學業
日々すゝむ

○人怠る時は學業日々に
しりぞく

○勉強する者は賢き人と
なる

○怠るものは愚なる人と
なる

第十章 衛生

○人のからだは養生を第

一とす

- 養生すれば疾すくなく
- 養生の本はのみくひを
慎むにあり
- 飲食の度をすごすべからず

- 不熟の菓を食すること
なかれ

- 身體は常ふあらひ清む
べし

- 身體に垢つけば養生に
害あり

小學初教 卷之一 十文堂藏版

○朝早く起くるは養生に益あり

○養生をよく爲るは孝行の始なり

美潭書 

小學初教卷之一終

明治十七年二月廿日版權免許

定價金八錢

校閱人 埼玉縣士族 稻垣千穎

編者 静岡縣士族 塚原苔園

出版人 東京府平民 原田庄左衛門 

全本郷區本郷元町壹丁目番地



小學初教

稻垣千穎校閱
塚原苔園編
二

K116,1
249
2